

| | | |
|----|---|---|
| 必須 | ① CIMモデルの作成・更新 <CIM導入ガイドライン>※ | ✓ |
| | ② 属性情報の付与 <CIM導入ガイドライン>※ | ✓ |
| | ③ CIMモデルの照査 <BIM/CIM設計照査シートの運用ガイドライン>※ | ✓ |
| | ④ CIMモデルの納品 <CIM事業における成果品作成の手引き>※ | ✓ |
| 選択 | ① 段階モデル確認書を活用したCIMモデルの品質確保 ・<段階モデル確認書>に基づきCIMモデルを共有し、その効果や課題について抽出する | |
| | ② 情報共有システムを活用した関係者間における情報連携 ・情報共有システムの3次元データ等表示機能等を活用し、関係者間における情報連携を実施する | |
| | ③ 後工程における活用を前提とする属性情報の付与 ・CIMガイドラインに固執せず、事業ごとの特性から追加すべき属性情報を検討する | ✓ |
| | ④ 工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討 ・<設計-施工間の情報連携のための4次元モデルの考え方>を参考に施工ステップ等に沿ったCIMモデルを構築する | ✓ |
| | ⑤ CIMモデルを活用した工事費の算出 ・CIMモデルから数量を算出するとともに、算出された数量に基づく概算事業費の算出を行う | |
| | ⑥ 契約図書としての機能を具備するCIMモデルの構築 ・契約図書としての要件を備えたCIMモデルを作成し、3次元モデルと2次元図面との整合性について確認する | |
| | ⑦ CIMモデルを活用した効率的な照査 ・3次元モデルと属性情報に基づき、効率的な照査を実施する | |
| | ⑧ 施工段階におけるCIMモデルの効率的な活用方策の検討 ・CIMモデルを用いた仮設計画、施工計画を行い、出来形管理を検討、実施する | ✓ |

※<実施時の参考資料名>